

平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅡB(SeminarⅡB)		授業コード	E002515
担当教員名	森田 和子		科目ナンバリングコード	E21202
配当学年	2	開講期	後期	
必修・選択区分	必修	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	出席重視です。休むときは事前に連絡すること。			
受講心得	自己管理をしっかりやり、休まず授業に出ること。			
教科書	能勢哲也著「現代財政学」(有斐閣)			
参考文献及び指定図書	池上岳彦編「現代財政を学ぶ」(有斐閣)			
関連科目	このゼミとあわせて財政学の講義を必ず受講してください。			

授業の目的	ゼミナールⅡAに続いて、専門的な勉強をするための基礎作りを行います。
授業の概要	ゼミナールⅡAで学んだことを基礎に、財政学のより発展的な内容を学んでいきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：オリエンテーション 第1回 履修指導。オリエンテーション。	後期の学習計画をたてる。学習自己評価シートを記入。
第2週： 第2回 公共部門の機能	教科書の該当箇所を読み、重要事項を把握します。
第3週： 第3回 公共部門の構成と収支の構造	前回の復習と今週の内容の整理、確認。
第4週： 第4回 公共サービスの生産と消費	前回の復習と今週の内容の整理、確認。
第5週： 第5回 公共財論(1)	前回の復習と今週の内容の整理、確認。
第6週： 第6回 公共財論(2)	前回の復習と今週の内容の整理、確認。
第7週： 第7回 公共支出の法則	前回の復習と今週の内容の整理、確認。
第8週：	

第8回 国の一般会計歳入	前回の復習と今週の内容の整理、確認。
第9週： 第9回 租税の転嫁と帰着	前回の復習と今週の内容の整理、確認。
第10週： 第10回 租税の経済効果	前回の復習と今週の内容の整理、確認。
第11週： 第11回 戦後の日本の税制	前回の復習と今週の内容の整理、確認。
第12週： 第12回 所得税	前回の復習と今週の内容の整理、確認。
第13週： 第13回 消費税	前回の復習と今週の内容の整理、確認。
第14週： 第14回 法人税	前回の復習と今週の内容の整理、確認。
第15週： 第15回 公債	前回の復習と今週の内容の整理、確認。
第16週：期末試験 試験は実施しません。第16回 現在の財政の課題についてレポート	これまでの学習内容の見直しをしてください。
授業の運営方法	(1)授業の形式 「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式
	(3)アクティブ・ラーニング
地域志向科目	該当しない
備考	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	自己管理を基本に、努力を続けていく姿勢を評価。
【知識・理解】	むずかしい問題にも挑戦し、知識を増やしていくこと。
【技能・表現・コミュニケーション】	読み取った内容を書いてみる。概要を説明する力。
【思考・判断・創造】	状況にあわせた柔軟な思考ができる。ケインズ革命の意味を考える。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	

【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		60点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		10点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		10点	

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	困難をのりこえてねばり強く学習を続けられたか。
発表・その他 (無形成果)	